

適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数		
日本芝	葉腐病 (ラージパッチ) 疑似葉腐病 (春はげ症) 疑似葉腐病 (象の足跡) ダラースポット病	666倍～ 1,000倍	0.2L/m ²	発病前～ 発病初期	2回以内	散布	
	カーブラリア葉枯病	1,000倍					
	フェアリーリング病	666倍					
西洋芝 (ベントグラス)	炭疽病 ダラースポット病 フェアリーリング病	200倍 400倍 1,000倍	0.1L/m ² 0.2L/m ² 0.5L/m ²	4回以内			
	西洋芝 (ライグラス) 西洋芝 (パーミューダグラス)	ダラースポット病	200倍 400倍 1,000倍				0.1L/m ² 0.2L/m ² 0.5L/m ²

製品情報

種類名	ペンフルフェン水和剤	有効成分	ペンフルフェン 22.7%
製品名	オブテインフロアブル	性状	類白色水和性粘稠懸濁液体
荷姿	500mL×10本	毒性	普通物*

*毒性とは「毒物および劇物取締法」に基づく毒物・劇物に該当しないものを指している通称

効果・薬害等の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってください(分離)。
- ゴルフ場のパッティンググリーンで使用する場合、一年生のブルーグラス類に対しては薬害を生じるおそれがあるため十分に注意してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。
特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

貯蔵上の注意事項

- 密栓し、直射日光を避け、食品と区別して冷涼な所で保管してください。

水産動植物の被害防止等に関する注意事項

河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意してください(魚類)。散布機具・容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

安全使用上の注意事項

- 桑葉にかからないようにしてください(蚕毒)。
- 誤飲に注意してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜等に留意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



殺菌剤 芝用



ラージパッチの定番剤
西洋芝の病害にも適用拡大

登録商標 第4241222号



ラージパッチを含む幅広い日本芝病害防除に加え、西洋芝に発生する病害にも有効

特長

- 日本芝のリゾクトニア菌〔葉腐病(ラージパッチ)〕に対して、長い残効性を示す
- 疑似葉腐病(象の足跡、春はげ症)、フェアリーリング病、ダラースポット病、カーブラリア葉枯病に対しても高い防除効果を示す
- 西洋芝に発生する炭疽病、フェアリーリング病、ダラースポット病にも高い防除効果(薬量0.5mL/m²)
- 日本芝とベントグラスに対する高い安全性
- 薬剤調製のしやすいフロアブル製剤

葉腐病(ラージパッチ)に対しては薬量0.25mL/m²での使用を推奨します

※薬量0.3mL/m²で使用することでさらに安定した効果と残効が期待できます。

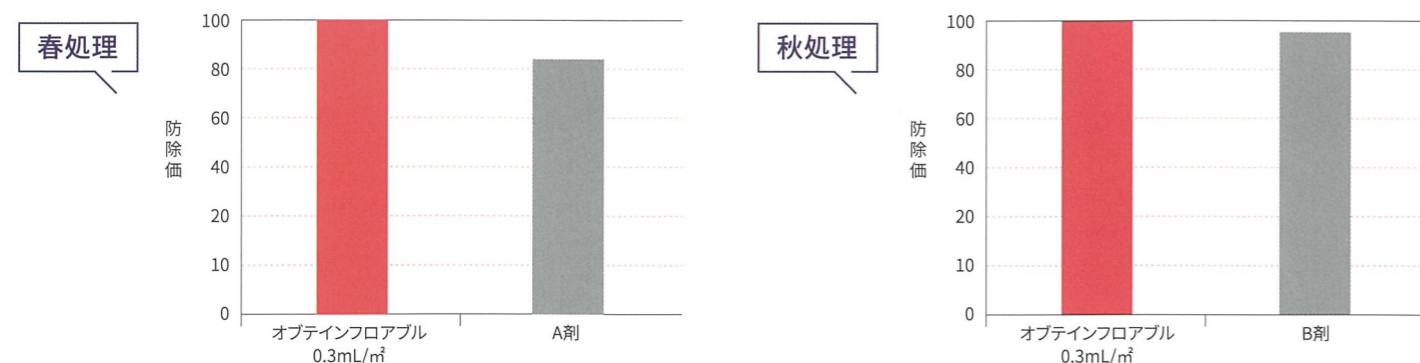
葉腐病(ラージパッチ)防除剤の散布適期



- オブテインフロアブル ラージパッチの発生を長期間抑え、その他日本芝の病害の同時防除も可能であることから、春秋防除の1回目散布を推奨
- クルセイダーフロアブル ラージパッチに加えてノシアデクラインの防除も可能であることから、春秋防除の2回目散布を推奨

葉腐病(ラージパッチ)に対する効果

■ 葉腐病(ラージパッチ)発病前防除試験: 公的委託試験



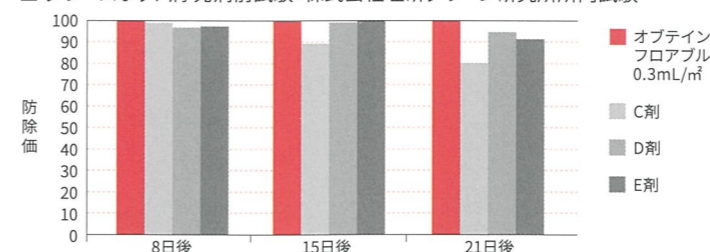
試験場所	広島カントリー倶楽部 No.4 (新中国グリーン研究所委託試験)
試験規模	小プロット試験: 50m ² (5m×10m) / 区、2反復
処理日	2010年4月6日、無処理区パッチ面積率0%
調査日	2010年5月24日 (48日後)

試験場所	メイプルポイントゴルフクラブ No.15ラフ (東日本グリーン研究所委託試験)
試験規模	小プロット試験: 10m ² (2m×5m) / 区、2反復
処理日	2010年9月24日、無処理区パッチ面積率0%
調査日	2010年10月26日 (32日後)

オブテインフロアブルは葉腐病(ラージパッチ)に対して安定した高い防除効果を示しました

ダラースポット病に対する効果

■ ダラースポット病 発病前試験: 株式会社理研グリーン研究所内試験



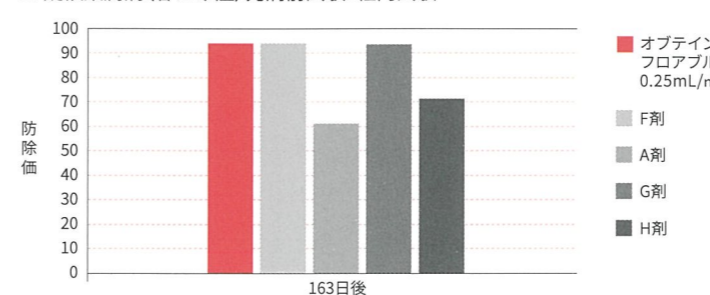
**2014年芝草学会発表資料

試験場所	株式会社理研グリーン研究所内
試験規模	ポット試験: 0.2m ² /区、3反復 (コウライシバ)
処理日	2013年12月3日、薬剤処理後ダラースポット病菌を接種
調査日	2013年12月11日 (8日後)、無処理区パッチ面積率93.3%
	2013年12月18日 (15日後)、無処理区パッチ面積率96.7%
	2013年12月24日 (21日後)、無処理区パッチ面積率96.7%

オブテインフロアブルはダラースポット病に対して高い防除効果を示しました

疑似葉腐病(春はげ症)に対する効果

■ 疑似葉腐病(春はげ症)発病前試験: 社内試験



**2014年芝草学会発表資料

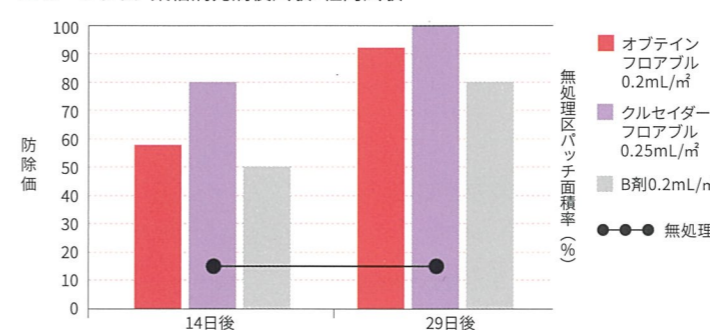
試験場所	東海地区ゴルフ場 (コウライシバ)
試験規模	小プロット試験: 12m ² /区、3反復
処理日	2011年11月9日、無処理区パッチ面積率0%
調査日	2012年4月20日 (163日後)、無処理区パッチ面積率30.0%

**山本孝幸、小淵茂俊、雪ノ浦邦彦、大竹裕久、早川敏広、佐々木伸浩 (2014): 新規芝用殺菌剤ベンフルフェンに関する研究第2報を一部抜粋

オブテインフロアブルは防除率90以上の高い防除効果を示し、晩秋処理においてラージパッチと春はげ症の同時防除が可能であることが示唆されました

カーブラリア葉枯病に対する効果

■ カーブラリア葉枯病発病後試験: 社内試験

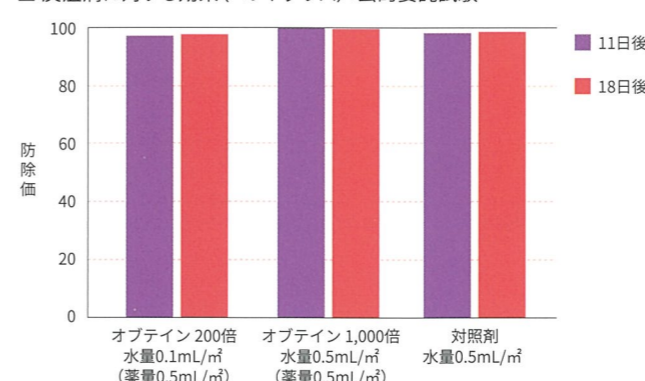


試験場所	関東地区Kゴルフ場
処理時期	カーブラリア葉枯病発病後
試験規模	1m ² /区、1反復
処理日	2014年7月22日 (夏季処理・発病後)
調査日	2014年8月5日 (14日後)、8月20日 (29日後) (無処理区パッチ面積率15.0%)
品種	コウライシバ

オブテインフロアブルは、一般的にカーブラリア葉枯病発病後に効果の高いと言われるDMI剤のクルセイダーフロアブルと比較すると速効性に関しては劣りますが、最終的には高い防除率が得られました

炭疽病に対する効果

■ 炭疽病に対する効果(ベントグラス): 公的委託試験



試験場所	賀茂カントリークラブ (新中国グリーン研究所委託試験)
試験規模	1区2m ² (3連制)
処理日	2019年8月8日、19日
調査日	2019年8月19日、26日

フェアリーリング病に対する効果

■ フェアリーリング病に対する効果(ベントグラス): 公的委託試験

供試薬剤	希釈倍率(倍)	希釈水量(mL/m ²)	区制	7月31日	8月12日	8月27日
				病徴*		
オブテイン	200	100	I	++	±	-
			II	++	±	±
			III	++	±	-
オブテイン	1,000	500	I	++	±	-
			II	++	±	-
			III	++	±	±
対照剤	3,000	1,000	I	++	±	-
			II	++	±	-
			III	++	±	±
無処理	-	-	I	++	++	++
			II	+	+	++
			III	++	++	++

試験場所	広島カントリー倶楽部 西条コース (新中国グリーン研究所委託試験)
試験規模	1区2m ² (3連制)
処理日	2019年7月31日、8月12日
*病徴	+++ (明瞭)、++、+、±、- (無し) までの5段階で評価